

## 受入研修

ロシアに対する省エネ支援事業（受け入れ研修）を実施しました。

### 「事業概要」

一般財団法人省エネルギーセンター(ECCJ)は、経済産業省の委託を受けてロシアから研修員6名（地方政府関係者、大学関係者）を招聘し、H30.10.15～H30.10.19の5日間、同国の省エネ政策の主目標であるビル省エネルギーについて研修事業を実施しました。

研修目標は以下の通りです。

- (1) 日本のビルに関する省エネルギー法、寒冷地の熱供給プラントの運転管理・省エネルギー技術およびビルの省エネルギー設計、エネルギー管理要領について理解するとともに、その知見をロシアのビル省エネルギーの制度設計に役立てる。
- (2) 日本の省エネルギー熱供給設備見学を行う。



研修は日本側から省エネルギー基本政策およびビル省エネルギー政策の講義から始まりました。ロシア側からは現状のビル省エネルギー政策状況および省エネルギー推進上の問題点について報告がありました。

日本の寒冷地における省エネビルの設計事例（北海道地域）および寒冷地設計マニュアルを参考として情報提供しました。

また、日本の寒冷地（北海道苫小牧地域）における熱供給プラントの運転状況等について詳細に講義を行いました。ロシアの熱供給プラント運転との比較検討が行なわれました。

また都内の省エネルギー熱供給プラントを見学しました。

研修の最終日には、ロシア側から本研修から得た情報を今後のビル省エネルギー政策立案時に参考とすると同時に、研修生からは以下の意見がありました。

- 1) 日本の寒冷地省エネ設計基準および省エネビル見学は非常に参考になった。
- 2) 熱供給プラントに関しても最新鋭の技術が適用されており自国のシステムの参考になった。
- 3) 日本のエネルギー管理に関しても更に詳細に学びたい。

上記の意見を参考にし、今後の計画を検討する予定です。